

# 2010年1月期（53期） 第2四半期決算説明資料

2009年9月4日

ピジョン株式会社

（コード：7956）

代表取締役社長 大越 昭夫

# 目次

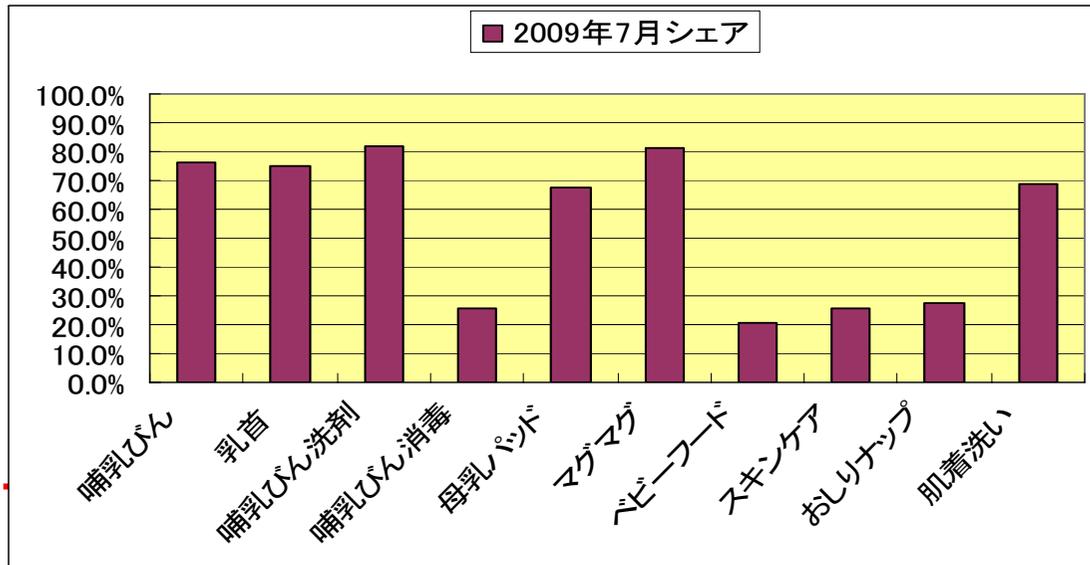
- タイトル・目次 1 - 2
- 2010年1月期 第2四半期業績報告 3 - 15
- 2010年1月期 通期業績見込 16 - 22
- (参考) 第三次中期経営計画目標 23 - 27

# 2010年1月期 第2四半期 業績報告

# 国内育児事業の状況

## 国内既存事業の再強化と新規事業の育成

- 育児用品 【景況】 1Q：流通在庫調整など → 2Q：計画通りの進捗  
国内販売代理店の民事再生法適用申請（3月）
- 【新商品】『母乳チルド密閉キャップ』・『虫くるりんシリーズ』他
- 【ダイレクト・コミュニケーション】プレママイベント  
18回実施、1,300名以上のマタニティ参加
- 【IT】ピジョンインフォ：会員数45万人超  
Mamas&Papas社商品の独占販売契約締結（6月）
- 子育て支援
- ・事業所内保育施設の運営受託を中心に計画通りの伸長
  - ・4月に5箇所の新規運営受託開始
  - ・スタッフ教育プログラムの継続（ハートナーオープンカレッジ）



母乳育児関連  
『母乳チルド密閉キャップ』



『虫くるりんシリーズ』



# 海外事業の状況

## ■育児用品及び女性ケア用品事業のグローバル化

海外事業 景気後退・為替変動の影響 → 現地通貨ベースでは前年実績を上回る

中国

- ・中国衛生部と共同で34の主要病産院に『母乳育児相談室』開設
- ・供給体制整備 上海青浦地区新工場稼動順調（二期工事も計画通り進捗）  
江蘇省常州市に生産子会社設立（6月）

北米  
ヨーロッパ

- ・ランシノ社にてSoothiesブランドの営業権取得（1月）、販売開始
- ・ランシノ社トルコブランチ営業開始（4月）

新規市場・インド：ムンバイに販売子会社設立（12月頃予定）



ピジョンマニュファクチャリング上海  
（上海市青浦工業園区）



中華人民共和国衛生部との共同プロジェクト  
『ピジョン母乳育児相談室』開設



Soothiesブランド  
乳首ケア用Gel Pad

# ヘルスケア事業の状況

## ■国内既存事業の再強化と新規事業の育成

### 【ハビナースブランド】

- ・新商品 『手間なしぴったりシート』  
『尿とりパッド 超高立体ギャザータイプ』 など
- ・ブランド統合 ピジョンと旧タヒラブランドのハビナースへの統合

### 【リクープブランド】

- ・新商品 『負担軽減サポーターシリーズ』 追加アイテム  
『歩行サポートソックス』 『歩行サポートシューズ』
- ・ブランド認知向上 イメージキャラクター女優の香山美子さんを起用  
イベント・トークショー・商品紹介動画配信など
- ・専用カタログ制作 春秋の2回発行、商品と生活情報掲載
- ・ブランド育成 リクープコーナー設置：約200店



ハビナース新商品



リクープ新商品



リクープ専用カタログ

# 決算ハイライト（連結）

（百万円）

	09/1 第2四半期		10/1 第2四半期			
	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画比
売上高	26,662	111.8 %	26,700	26,258	98.5 %	98.3 %
営業利益	2,118	139.8 %	1,650	2,154	101.7 %	130.6 %
経常利益	2,104	141.6 %	1,600	2,180	103.6 %	136.3 %
四半期純利益	1,363	151.9 %	1,000	1,307	95.8 %	130.7 %
純資産	24,528	102.9 %	—	25,449	103.8 %	—
総資産	39,327	104.3 %	—	39,441	100.3 %	—
EPS（円）	68.28	151.4 %	49.96	65.30	95.6 %	130.7 %
BPS（円）	1,205.83	102.5 %	—	1,249.35	103.6 %	—

# 比較損益（連結）

	09/1 第2四半期		10/1 第2四半期			（百万円）
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	
売上高	26,662	100.0 %	26,258	100.0 %	98.5 %	
売上原価	16,583	62.2 %	16,112	61.4 %	97.2 %	
売上総利益	10,079	37.8 %	10,145	38.6 %	100.7 %	
販管費	7,961	29.9 %	7,991	30.4 %	100.4 %	■主な販売費及び一般管理費の増減
営業利益	2,118	7.9 %	2,154	8.2 %	101.7 %	貸倒引当金繰入額 +71百万円 人件費 +14百万円 広告宣伝費 ▲55百万円
営業外損益	▲13	▲0.0 %	25	0.1 %	—	
経常利益	2,104	7.9 %	2,180	8.3 %	103.6 %	
特別損益	▲122	▲0.5 %	▲398	▲1.5 %	—	■主な特別損益
少数株主損益	57	0.2 %	61	0.2 %	107.2 %	貸倒引当金繰入額 ▲380百万円
四半期純利益	1,363	5.1 %	1,307	5.0 %	95.8 %	

# 事業セグメント別売上高（連結）

（百万円）

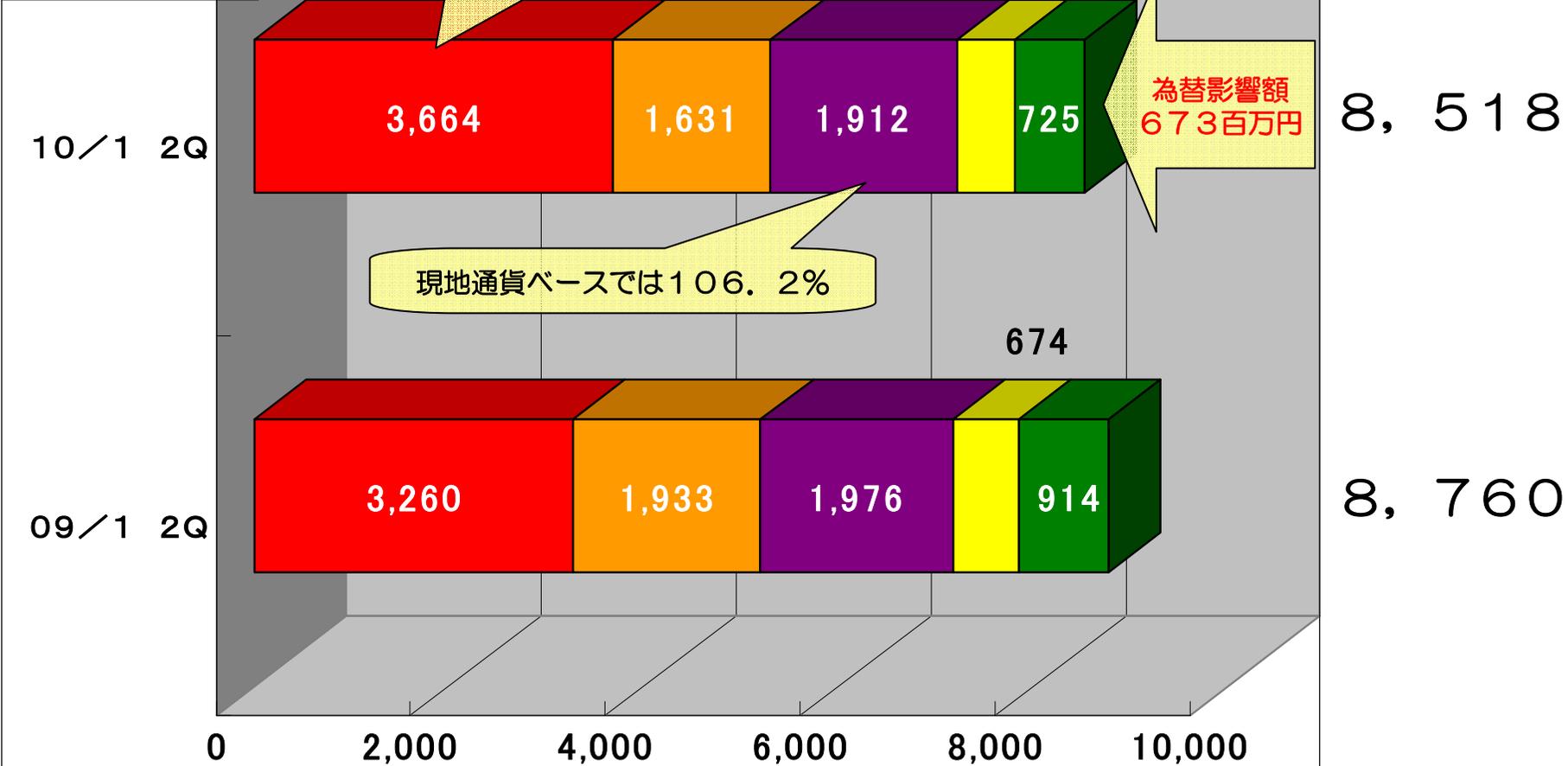
	09/1 第2四半期				10/1 第2四半期			
	金額	構成比	前期比	総利益率	金額	構成比	前期比	総利益率
<b>連結売上高</b>	<b>26,662</b>	<b>100.0%</b>	<b>111.8%</b>	<b>37.8%</b>	<b>26,258</b>	<b>100.0%</b>	<b>98.5%</b>	<b>38.6%</b>
育児用品（国内）	10,328	38.7%	101.2%	40.2%	10,136	38.6%	98.1%	40.7%
育児用品（海外）	8,494	31.9%	135.3%	47.1%	8,286	31.6%	97.6%	49.0%
子育て支援サービス	2,550	9.6%	104.7%	11.4%	2,608	9.9%	102.3%	11.7%
HHC・介護用品	2,982	11.2%	103.2%	29.7%	3,034	11.6%	101.7%	30.7%
介護支援サービス	288	1.1%	105.3%	15.5%	292	1.1%	101.5%	14.2%
女性ケア用品	1,274	4.8%	114.9%	37.8%	1,195	4.6%	93.8%	38.1%
その他	742	2.8%	114.2%	29.4%	703	2.7%	94.7%	32.3%

上記の内、海外事業	8,760	32.9%	135.5%	47.3%	8,518	32.4%	97.2%	49.2%
-----------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------

# 海外地域別 売上実績

(百万円)

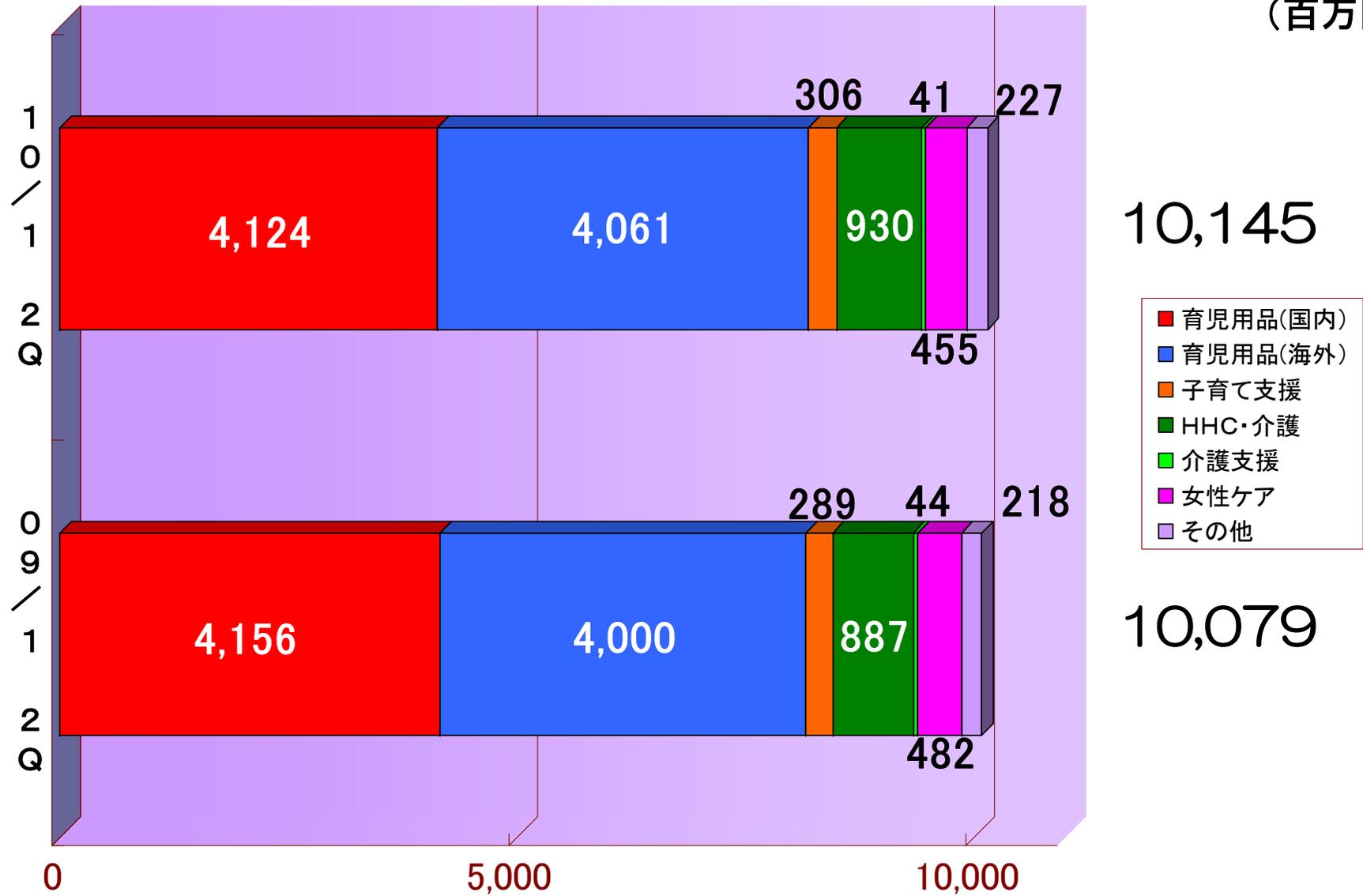
- 中国
- その他東アジア
- 北米
- 中近東
- その他地域



※【平均レート】 10/1 2Q : 1ドル95.58円 1元13.98円 ← 09/1 2Q : 1ドル104.89円 1元14.86円

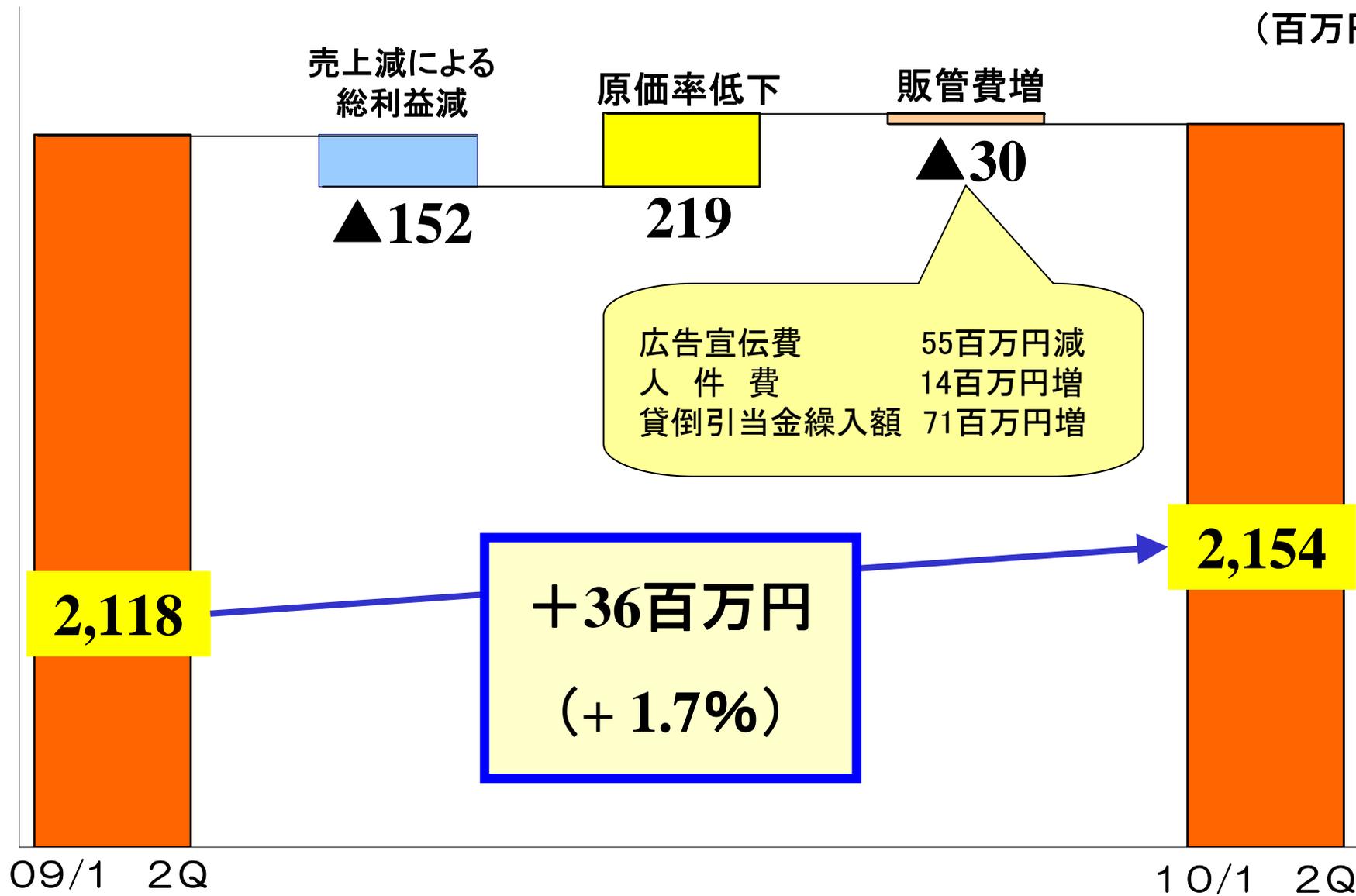
# 事業セグメント別 総利益額（連結）

(百万円)



# 主な営業利益増減要因（連結）

(百万円)



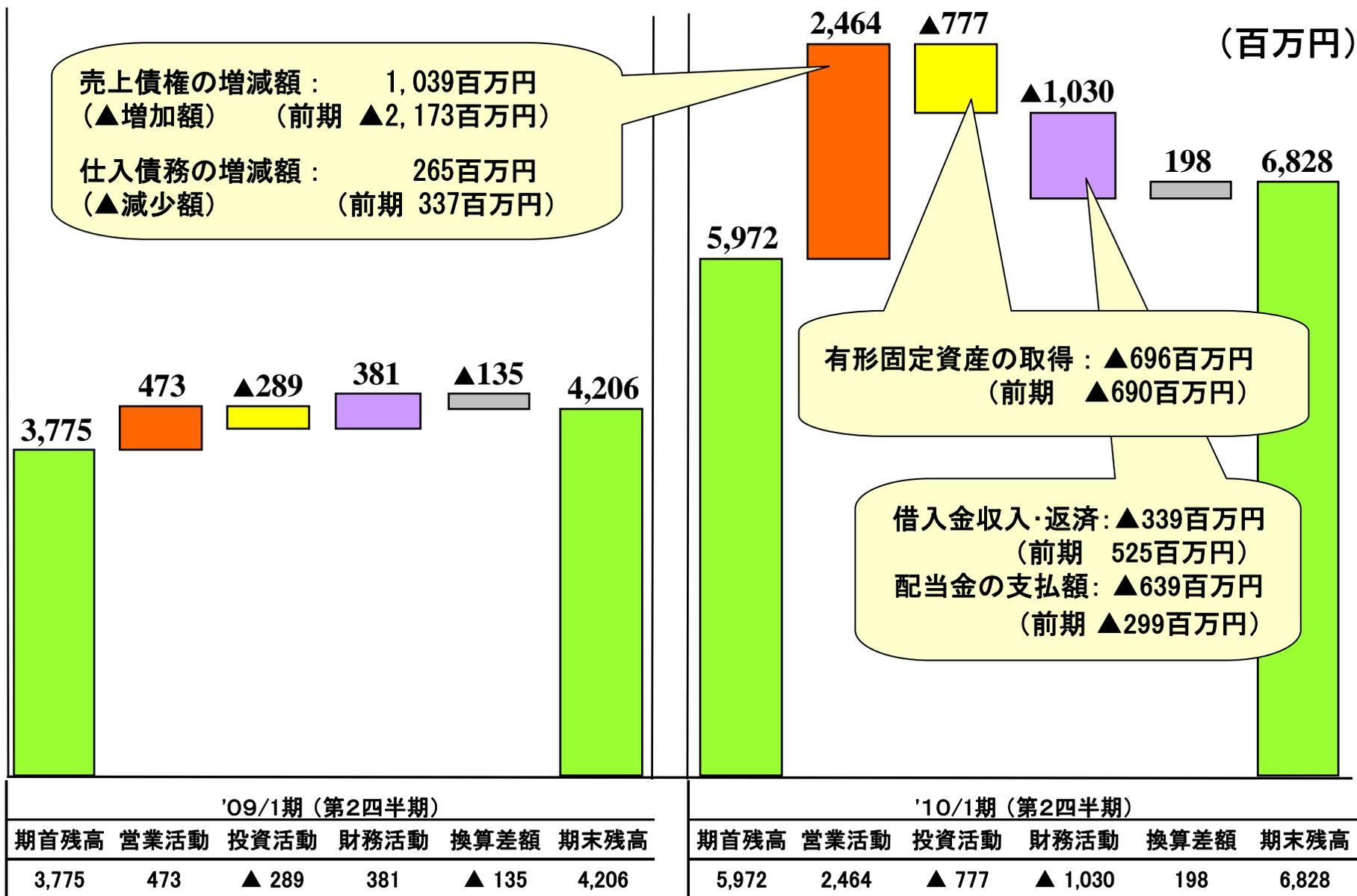
## ＜参考＞連結貸借対照表（ハイライト）

	09/1 期末	10/1 第2四半期 <span style="float: right;">（百万円）</span>		
	金額	金額	前期末比 （金額）	前期末比 （%）
現金及び預金	5,972	6,828	+ 855	114.3 %
受取手形及び売掛金	10,118	9,295	▲ 823	91.9 %
たな卸資産	4,641	5,219	+ 577	112.5 %
支払手形及び買掛金	4,674	5,059	+ 385	108.2 %
借入金	3,139	2,832	▲ 306	90.2 %
純資産	24,324	25,449	+ 1,124	104.6 %
総資産	38,407	39,441	+ 1,033	102.7 %
自己資本比率	62.3%	63.4%	—	+ 1.1pt

■受取手形及び売掛金 : 国内取引先債権管理 手形→現金へシフト

■借入金 : 短期・長期借入金ともに減少

# <参考> 連結キャッシュフロー比較



## ＜参考＞投資関連指標等（連結）

（百万円）

	09/1期		10/1期	
	第2四半期 (実績)	通期 (実績)	第2四半期 (実績)	通期 (見込)
設備投資額（※1）	1,035	1,431	613	1,941
減価償却費（有形固定資産）	607	1,307	547	1,397
研究開発費（※2）	525	1,128	626	1,300

※1 建設仮勘定を除く有形固定資産取得（計上額）

※2 人件費を含めた研究開発活動にかかる費用の総額

# 2010年1月期 通期業績見込

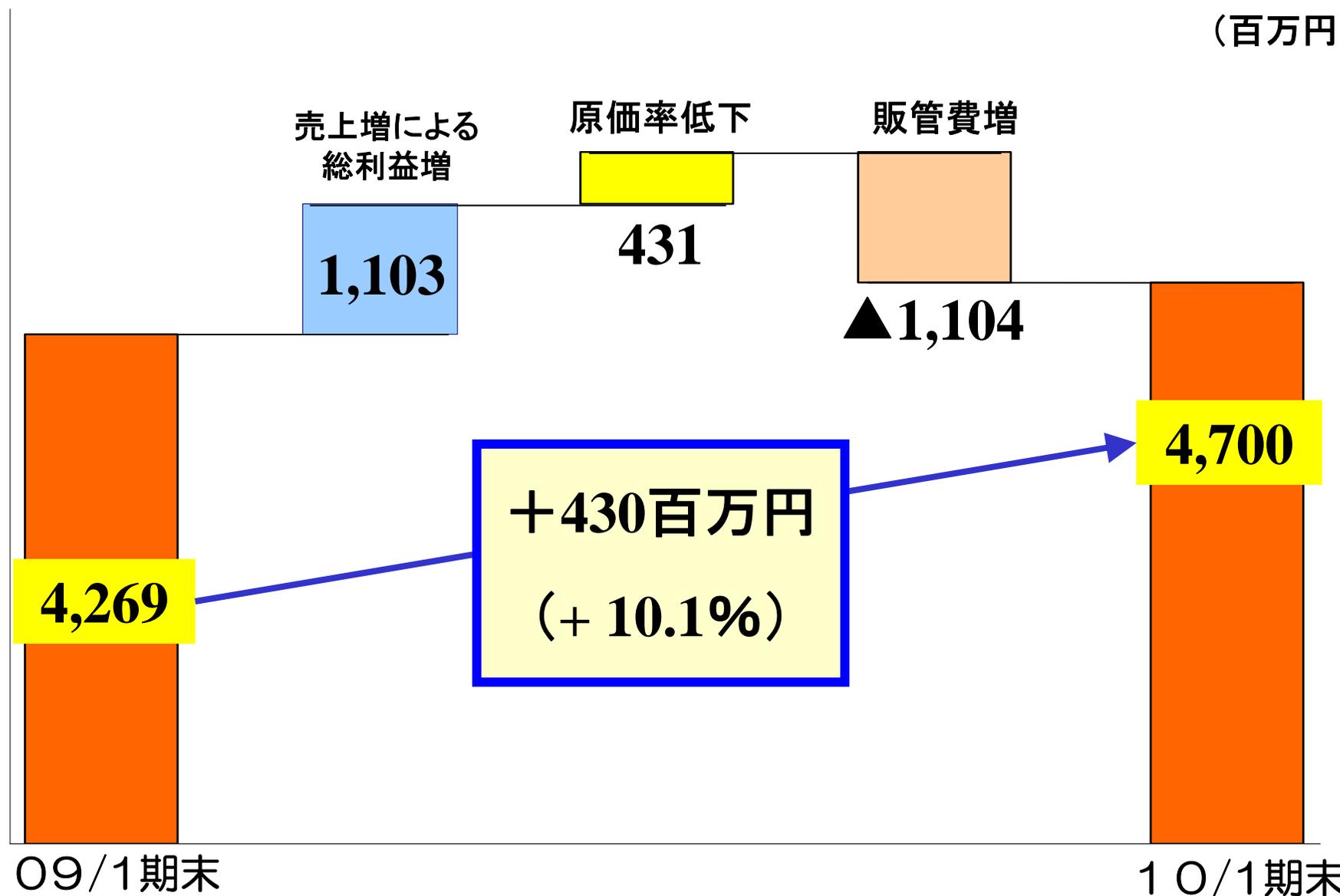
# 10年1月期 経営計画（連結）

(百万円)	09/1期(52期)			10/1期(53期修正計画)		
	実績	構成比	前期比	計画	構成比	前期比
売上高	53,092	100.0%	107.8%	56,000	100.0%	105.5%
営業利益	4,269	8.0%	133.7%	4,700	8.4%	110.1%
経常利益	4,293	8.1%	135.1%	4,700	8.4%	109.5%
当期純利益	2,854	5.4%	194.0%	3,000	5.4%	105.1%
純資産	24,324	—	102.1%	26,550	—	109.1%
総資産	38,407	—	102.6%	40,200	—	104.7%
EPS (円)	142.75	—	193.2%	149.88	—	105.0%
BPS (円)	1,195.45	—	101.8%	1,299.00	—	108.7%
ROA	11.3%	—	—	12.0%	—	—
ROE	12.1%	—	—	12.0%	—	—

※ROAは総資産経常利益率,ROEは自己資本当期純利益率で、分母は期首・期末平均

# 主な営業利益増減要因 修正計画（連結）

（百万円）



# 10年1月期事業セグメント別売上計画（連結）

（百万円）

	09/1(52期)				10/1(53期修正計画)			
	金額	構成比	前期比	総利益率	金額	構成比	前期比	総利益率
<b>連結売上高</b>	<b>53,092</b>	<b>100.0%</b>	<b>107.8%</b>	<b>38.0%</b>	<b>56,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>105.5%</b>	<b>38.8%</b>
育児用品（国内）	20,209	38.1%	98.1%	39.6%	20,579	36.7%	101.8%	40.3%
育児用品（海外）	17,374	32.7%	125.5%	48.6%	19,032	34.0%	109.5%	49.1%
子育て支援サービス	5,079	9.6%	104.3%	11.2%	5,187	9.3%	102.1%	12.9%
HHC・介護用品	5,839	11.0%	102.8%	29.2%	6,450	11.5%	110.5%	29.3%
介護支援サービス	582	1.1%	106.7%	14.4%	630	1.1%	108.1%	13.3%
女性ケア用品	2,515	4.7%	104.9%	36.6%	2,756	4.9%	109.6%	34.8%
その他	1,490	2.8%	115.4%	28.9%	1,363	2.4%	91.5%	33.5%

上記の内、海外事業	17,847	33.6%	124.4%	48.7%	19,553	34.9%	109.6%	49.4%
-----------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------

# 下期事業セグメント別売上計画（連結）

（百万円）

	10/1 第2四半期実績			10/1 下期概算			10/1 (53期修正計画)		
	金額	構成比	総利益率	金額	構成比	総利益率	金額	構成比	総利益率
<b>連結売上高</b>	<b>26,258</b>	<b>100.0%</b>	<b>38.6%</b>	<b>29,741</b>	<b>100.0%</b>	<b>38.8%</b>	<b>56,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>38.8%</b>
育児用品（国内）	10,136	38.6%	40.7%	10,442	35.1%	39.9%	20,579	36.7%	40.3%
育児用品（海外）	8,286	31.6%	49.0%	10,745	36.1%	49.2%	19,032	34.0%	49.1%
子育て支援サービス	2,608	9.9%	11.7%	2,579	8.7%	14.1%	5,187	9.3%	12.9%
HHC・介護用品	3,034	11.6%	30.7%	3,416	11.5%	28.2%	6,450	11.5%	29.3%
介護支援サービス	292	1.1%	14.2%	337	1.1%	12.5%	630	1.1%	13.3%
女性ケア用品	1,195	4.6%	38.1%	1,560	5.2%	32.3%	2,756	4.9%	34.8%
その他	703	2.7%	32.3%	660	2.2%	34.7%	1,363	2.4%	33.5%
<b>上記の内、海外事業</b>	<b>8,518</b>	<b>32.4%</b>	<b>49.2%</b>	<b>11,034</b>	<b>37.1%</b>	<b>49.6%</b>	<b>19,553</b>	<b>34.9%</b>	<b>49.4%</b>

## ■ 育児用品及び女性ケア用品事業のグローバル化

- 中国 経済は今後も継続的に成長の見通し  
⇒販売基盤の整備・生産拠点の拡充
- 北米 母乳育児関連用品市場は景況の影響を受けにくい  
⇒母乳関連用品分野での高シェア獲得と維持
- 新規市場：インド販売子会社設立・ロシア代理店新規設定など

## ■ 国内既存事業の再強化と新規事業の育成

- 育児用品 : 新規事業育成・ダイレクトコミュニケーション継続
- IT事業 : Mamas&Papas通販開始準備進行
- 子育て支援 : 質の高いサービス提供・成長カテゴリーの推進
- 介護用品 : 新商品の展開・リクープブランド市場浸透施策の継続

# 株主還元

## 【第三次中期経営計画での株主還元指標】

- ・ 11/1期にて総還元性向50%以上を目指し、自社株買いも含め、機動的に株主還元の拡充を行う

配当の状況	08/1期		09/1期		10/1期	
	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (予定)	期末 (予想)
1株あたり配当金	13	15	23	32	32	32
配当性向	37.9%		38.5%		42.7%	

# (参考) 中期経営計画 目標

(2008年2月 ~ 2011年1月)

(2009年3月6日修正数値)

# 中期経営計画 事業方針 (2008年2月 ~ 2011年1月)

## GLOBAL Company への飛躍

～チャレンジ、そして自立～

### ■育児用品及び女性ケア用品事業のグローバル化を推進する

- 中国 : 販売網の拡充・店頭シェア拡大・カテゴリ拡大・供給体制整備
- 北米 : 母乳関連用品分野での事業拡大
- 新規市場 : 市場開拓の取り組み

### ■国内既存事業の再強化と新規事業の育成を行う

- 育児用品 : 商品開発・ダイレクトコミュニケーション・収益改善
- IT事業 : ポータルサイトと通販サイトとのシナジー効果
- 子育て支援 : 質の高いサービス提供・成長カテゴリーの推進
- 介護用品 : ハビナスブランドの統合・リクープブランド育成

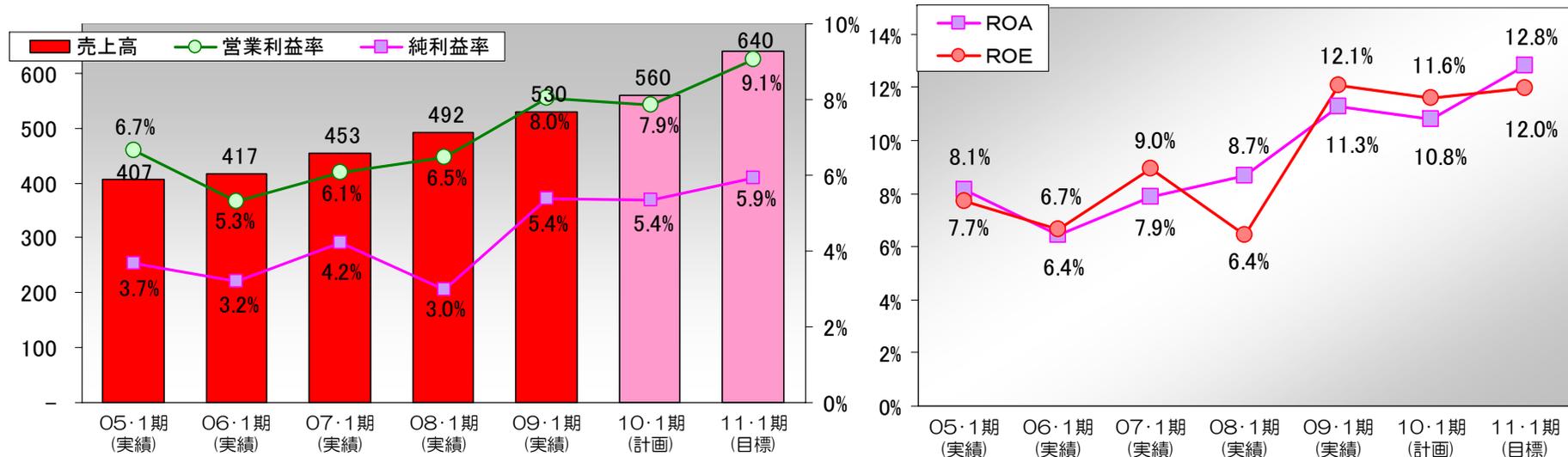
# 中期経営計画 進捗

単位：億円	08・1期 (実績)	09・1期 (実績)	10・1期 (計画)	11・1期 (目標)
売上高	492	530	560	640
売上総利益	186	201	211	247
営業利益	31	42	44	58
経常利益	31	42	43	56
当期純利益	14	28	30	38
EPS (円)	73	142	149	165
総利益率	37.9%	38.0%	37.7%	38.7%
営業利益率	6.5%	8.0%	7.9%	9.1%
経常利益率	6.5%	8.1%	7.8%	8.8%
純利益率	3.0%	5.4%	5.4%	5.9%
ROA	8.7%	11.3%	10.8%	12.8%
ROE	6.4%	12.1%	11.6%	12.0%

伸び率 (対08・1期)
30.0%
32.8%
81.7%
76.2%
158.3%

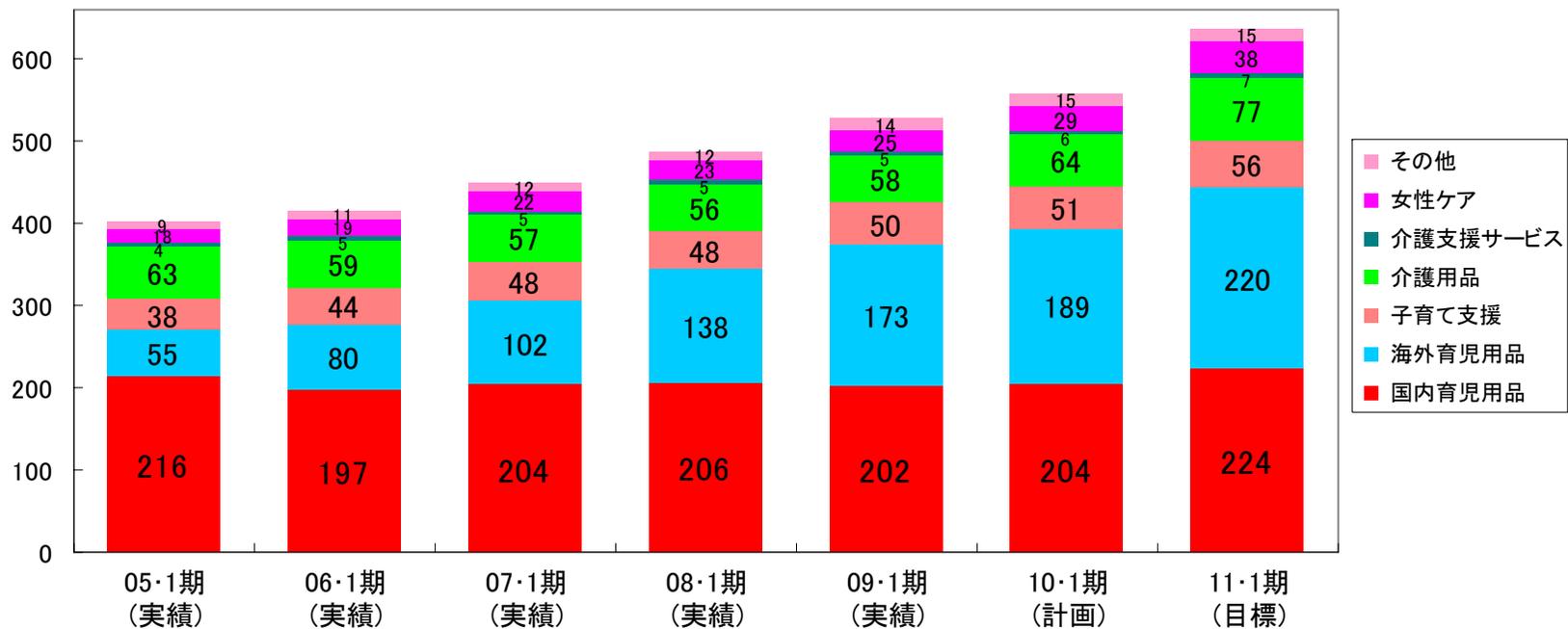
※EPSの株式数は潜在株式調整前

※ROAは総資産経常利益率, ROEは自己資本当期純利益率で、分母は期首・期末平均 (いずれも想定)

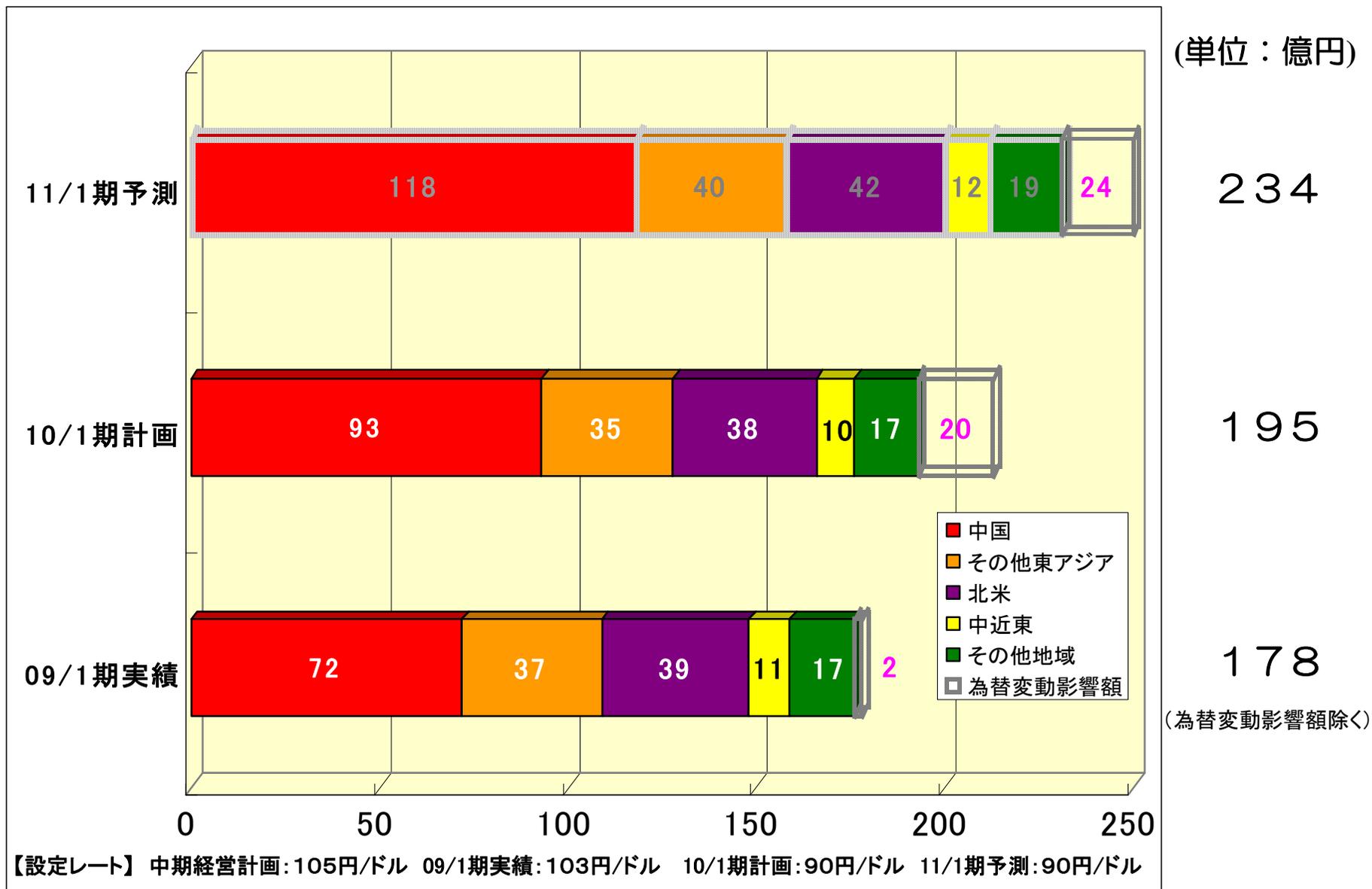


# 事業セグメント別総利益率

単位：億円	08・1期 (実績)	構成比	総利益率	09・1期 (実績)	10・1期 (計画)	11・1期 (目標)	構成比	総利益率	伸び率 (対08・1期)
<b>売上高</b>	<b>492</b>	100.0%	<b>37.9%</b>	<b>530</b>	<b>560</b>	<b>640</b>	100.0%	<b>38.7%</b>	<b>30.0%</b>
国内育児用品	206	41.9%	39.6%	202	204	224	35.1%	40.8%	8.9%
海外育児用品	138	28.1%	48.3%	173	189	220	34.4%	48.0%	58.9%
子育て支援	48	9.9%	13.6%	50	51	56	8.9%	13.5%	16.8%
介護用品	56	11.5%	30.2%	58	64	77	12.2%	29.0%	37.3%
介護支援サービス	5	1.1%	19.7%	5	6	7	1.1%	14.0%	33.7%
女性ケア	23	4.9%	37.2%	25	29	38	6.0%	36.4%	59.7%
その他	12	2.6%	31.6%	14	15	15	2.3%	33.1%	16.3%
海外事業	143	29.1%	48.5%	178	195	234	36.6%	48.0%	63.1%



# 海外地域別売上推移



## 将来見通しに関する注意事項

本資料にはピジョングループの「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、係わる将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたピジョングループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。